



郡っ子まなび通信 No.6

みなさん、e ライブラリの活用はしていますか？先日学校だよりも学習に関する話題が大きく取り上げられました。皆さんに学ぶ楽しさを感じてもらうために、まなび通信でも引き続き学習に関する様々な情報を発信していきます！

●勉強とは「できない」を「できる」にすること

勉強をただただ作業としてやるだけ、知らず知らずのうちにこんなことをしていませんか・・・

問題を解いても、答え合わせをしない

答え合わせをしないと、そもそも「何ができないのか」を知ることはできません。そして、間違えた問題の直しをしないと、「できるようになったか」をチェックすることはできません。

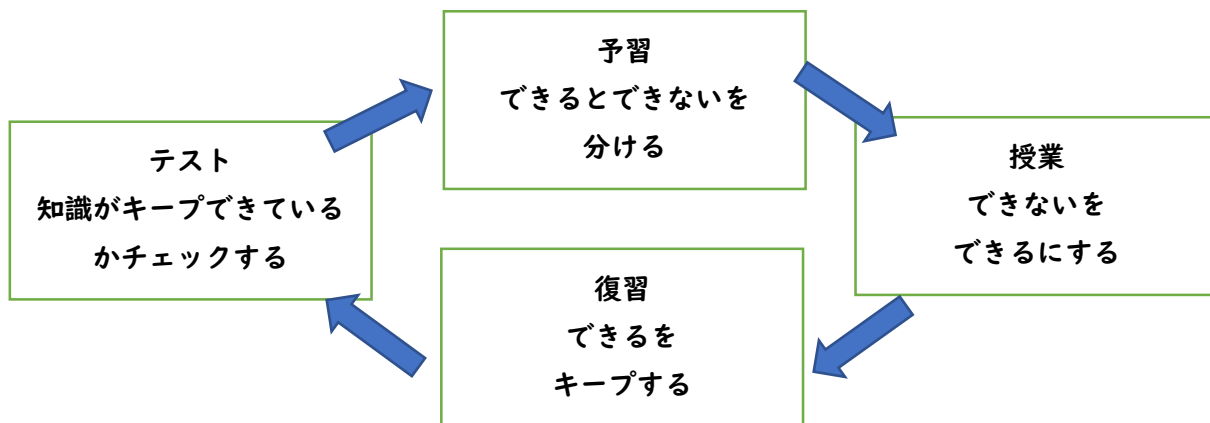
問題を解く→答え合わせをする→直し をしてやっと「勉強」になる。

とにかくひたすら英単語を書いている

「英単語は書いて覚えましょう」ということはよく言われます。でも、必死に書いている単語・・・本当は数回書いた時点で覚えてしまっているかもしれません。できることを繰り返しやっても、それは勉強になりません。

数学も同じです。解ける問題だけ解いてもそれは勉強にはなりません。「できない」ことを「できる」にする勉強の時間にしましょう。

●中学生の勉強は大きく4つに分かれる



●テストってどんなイイことがある？

【「できた!」という達成感を味わうことができる

自分の弱点がわかる】

テストが返却されたら・・・

「勉強の成果がでた!」ということもあれば、「これだけやったのにできなかった!」ということもあるでしょう。それで「どうせやってもできないから、やるのはムダ。もうやらない!」になってしまうのはもったいないです。このようにならないためには、正しい反省が必要です!

×間違っただけの反省→「点数」だけを見る ○正しい反省→「何をすべきだったかを考える」

間違っただけの反省とは、点数だけを見て一喜一憂することです。一方正しい反省とは、1問ずつ「なぜできなかったのか」を見て、「何をすべきだったのか」を考えることです。

返却されたときは、テストの記憶も鮮明に残っていると思うので、早いうちに「訂正ノート【反省】」の作成を行いましょ!